

台風10号の接近に伴う注意喚起

各種ニュース報道のとおり、連休を前に台風9号・10号・11号が発生しております。特に台風10号については、8日(日)に関東地方に接近する予報が出ておりますので、被害の発生・拡大防止に向けた事前の対策についてお伝えいたします。最新の気象情報にご注意頂くとともに、直前でも確認できる対策の実施をお勧めいたします。

1. 台風10号の進路予想

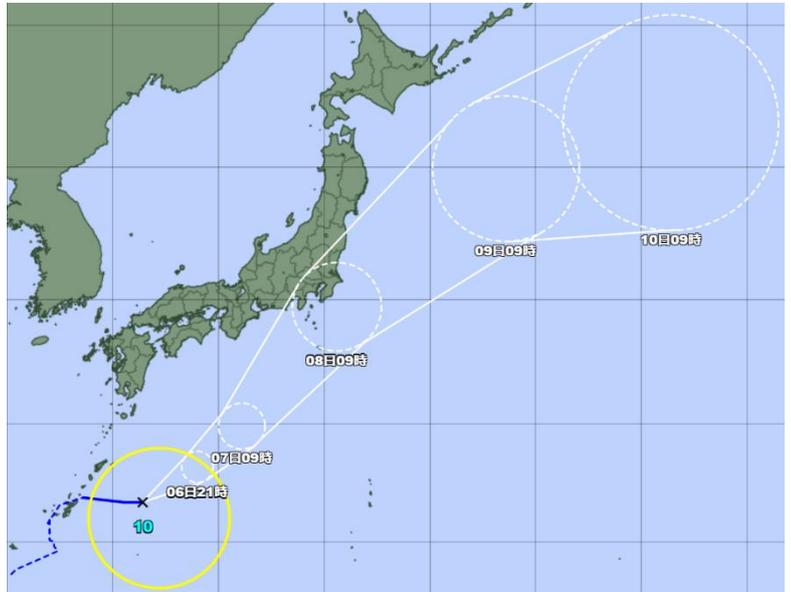
8月6日(金)9時現在の気象庁予報部発表によると、台風10号は、南大東島の北約100kmにあつて、東へ毎時25kmで進んでいます。中心の気圧は990hPa、最大風速は20m/s、最大瞬間風速は30m/sで、中心の南東側440km以内と北西側220km以内では風速15m/s以上の強い風が吹いています。

沖縄地方では沿岸の海域でしけや波の高い状態が8日(日)にかけて続く見込みです。

関東・東海・東北にかけての太平洋側は台風の接近前から湿った空気が流れ込むことで雨が強まる見込みです。特に関東地方では、8日(日)に台風が接近する見込みですが、台風の進路・発達状況によっては、大雨になる恐れがあります。土砂災害・低い土地の浸水・河川の増水にご注意ください。

今後も最新の気象情報に注意頂き、日中のうちに、前広な事前対策をお願いします。

なお、台風9号は現在台湾海峡にあり、ゆっくりと東北東へ進んでいますが台湾海峡に停滞したまま8日(日)には熱帯低気圧に変わる見込みです。台風11号は、日本の東を北寄りに進み、日本への直接的な影響はない見込みです。



台風10号の進路予想 (8/6 午前9時気象庁発表)

2. 事前の対策について

台風・集中豪雨は一般的に平時からリスクを想定し、タイムラインに沿った防災行動計画の策定と、対策ツールの準備など、具体的に対策を検討・実行していくことにより減災が可能と言われております。

直前での対策としては、側溝や排水溝・雨どいが詰まっていたり雨水がうまく流れずあふれ出すことがありますので、ゴミ等がたまっていないか点検・清掃し、水はけをよくしておきましょう。

各現場でご使用いただける点検チェックシートを添付いたしましたのでご利用下さい。



【出典】気象庁 <https://www.jma.go.jp/jp/typh/> 本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。

編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。



マリントピックス バックナンバー